

(1)令和3年度 活動計画(案)

- **全国統一指標・地域独自指標の目標達成に向けた取組
（「施工時期の平準化」に向けた取組）**
- **建設現場における働き方改革の取組**
- **発注見通し統合の活用促進**

令和3年度 活動計画(案)

①全国統一指標の目標達成に向けた取り組み

【取り組み内容】

◆ 発注関係事務相談キャラバン(2巡目)の実施

- 2巡目は、「施工時期の平準化」(「さしすせそ」の活用)の更なる推進を図ることを重点的に実施。
- R3年度は、概ね人口5~10万人の自治体を対象として訪問予定。

②適切な工期設定

【取り組み内容】

◆ 「統一的な現場閉所」(第4弾)による週休2日の促進

- 年間を通じて毎月2回(第2週、第4週)の土日を対象。
- 「令和3年度 統一的な現場閉所チラシ」を年度当初に配布(既発注工事への周知含む)。
- 一次調査(~R03.11.30)、二次調査(~R04.03.31)による週休2日達成状況の把握。

③「発注見通しの統合」の活用推進

【取り組み内容】

◆ 発注見通し(統合版)の利用促進に向けた対策(更なる認知度向上)

- 「公表基準日」を各月15日、30日に設定して公表(四半期ごとの当該月に各2回)。

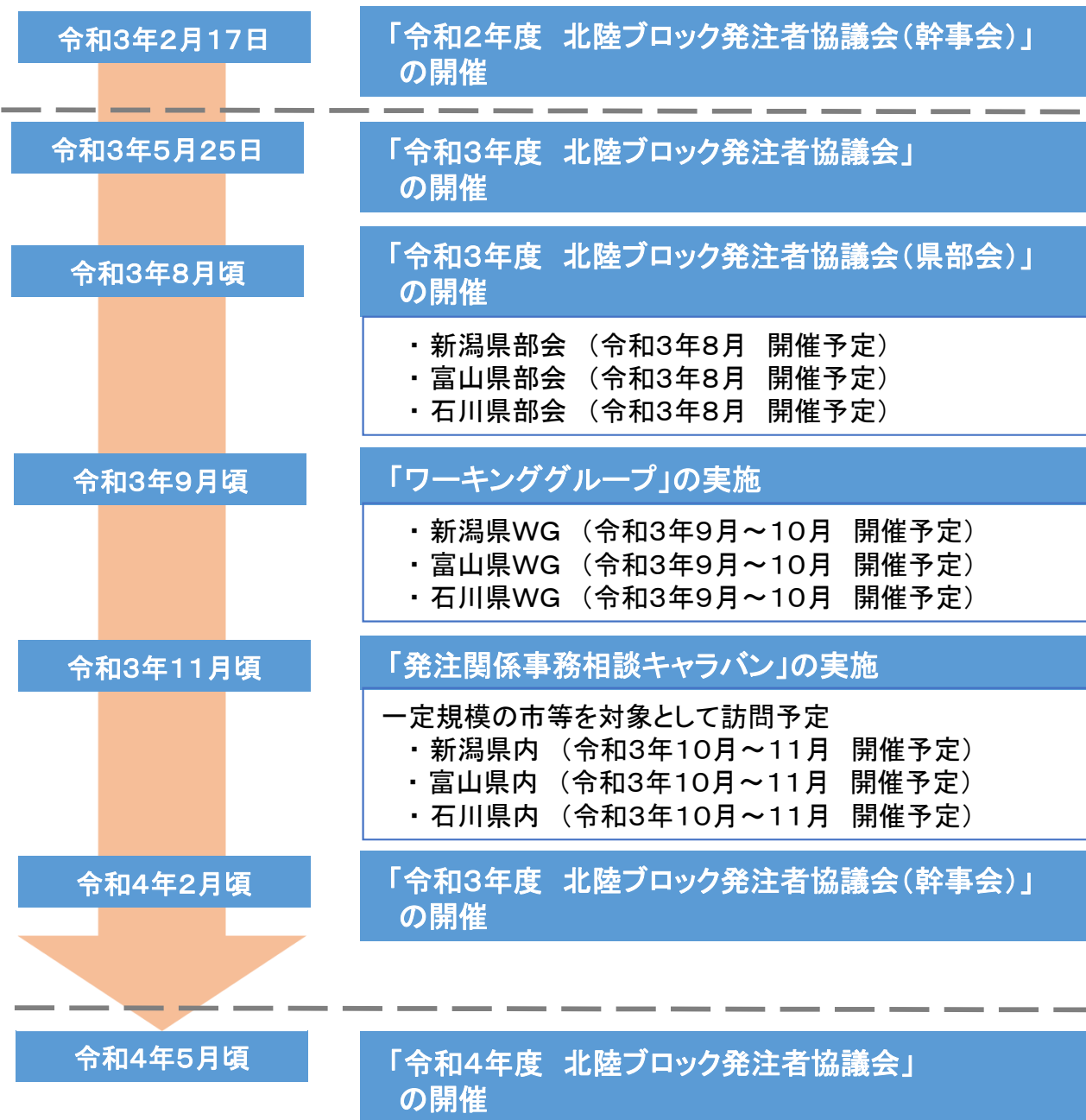
◆ 中長期発注見通し統合の公表

- 第3四半期を目処に、県・政令市は1件以上を公表

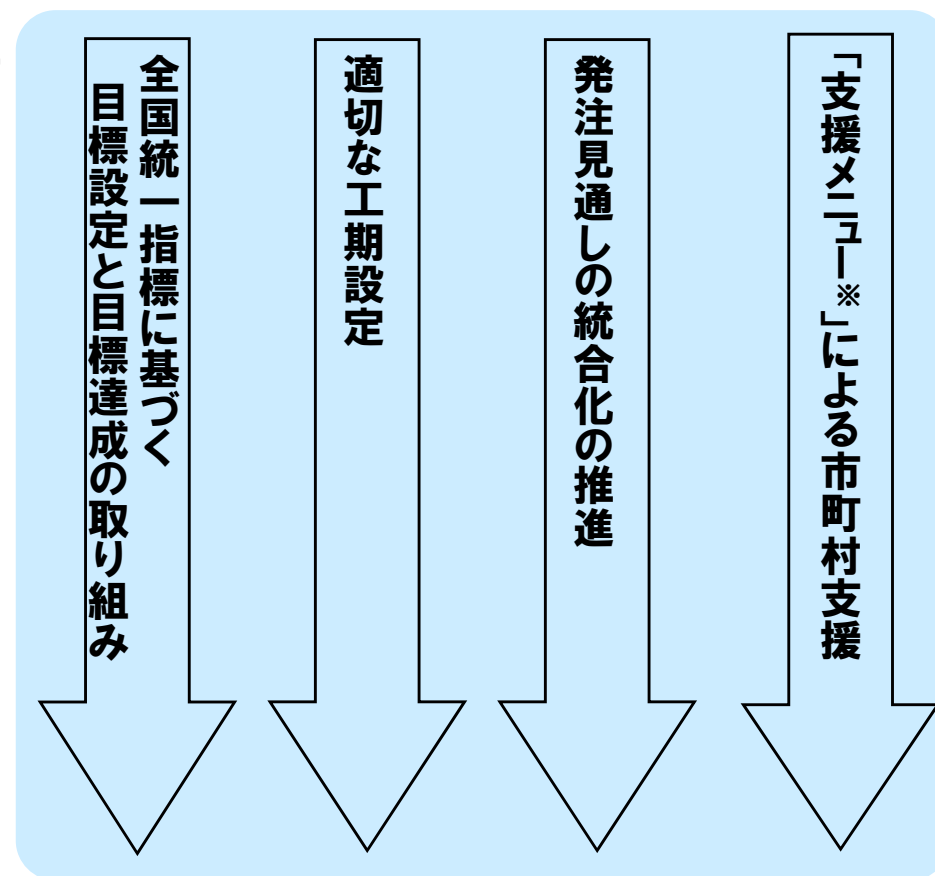
◆ 業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通し統合の公表

- 第3四半期の公表を目指し、準備・検討・実施。データ提供可能な機関より順次公表。

令和3年度のスケジュール(案)



令和3年度 活動計画(案)



「発注関係事務に関する支援メニュー※」の主要項目

- ・総合評価審査委員会への委員派遣
- ・職員研修への地方自治体職員の受講受け入れ
- ・県や市町村が開催する研修への職員派遣
- ・総合評価関係事務の演習講習会
- ・改正品確法等及び発注関係事務説明会
- ・ガイドライン(生産性向上)等説明会
- ・直轄工事検査への臨場受け入れ
- ・公共工事の発注関係事務相談キャラバン
- ・相談窓口の開設
- ・営繕部・港湾空港部の支援メニュー
- ・(参考)北陸農政局の支援メニュー

**全国統一指標・地域独自指標の
目標達成に向けた取組
（「施工時期の平準化」に向けた取組）**

「施工時期の平準化」へ向けた取り組み(発注関係事務相談キャラバン)

相談キャラバン 2巡目

- 2巡目は、「施工時期の平準化」の更なる推進を図ることを重点的に実施。
- 現状の取組・課題を把握(ヒアリング)し、北陸地方整備局職員及び県職員から推進に向け、国、県の実施内容及び他自治体の取り組み例等を提示。
- キャラバン2巡目訪問8市では、「さしすせそ」に取り組む市が増加。

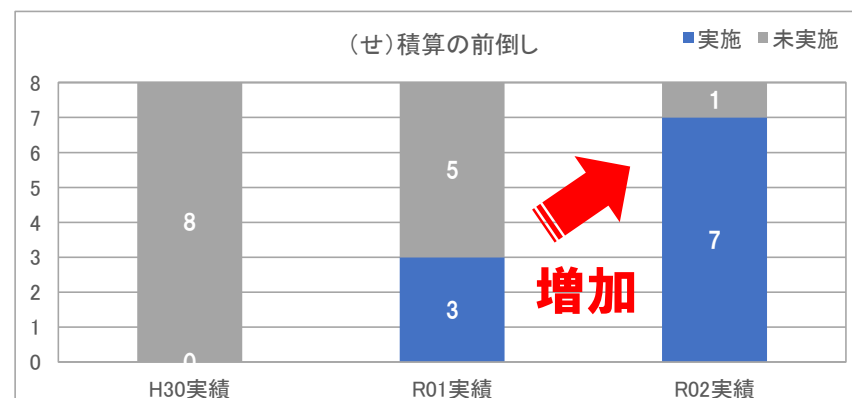
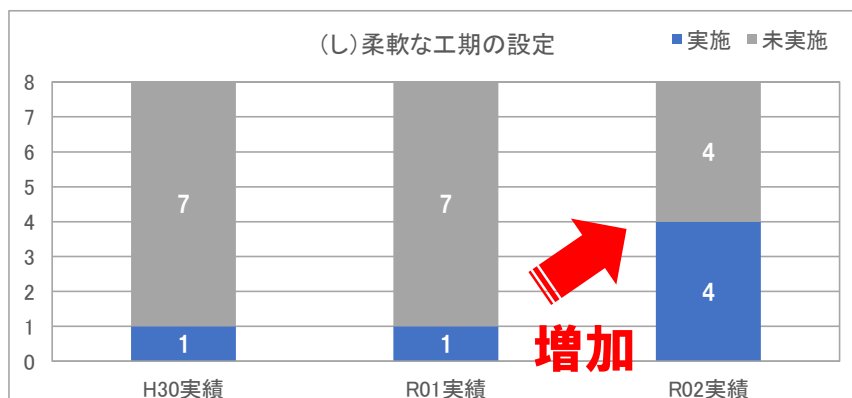
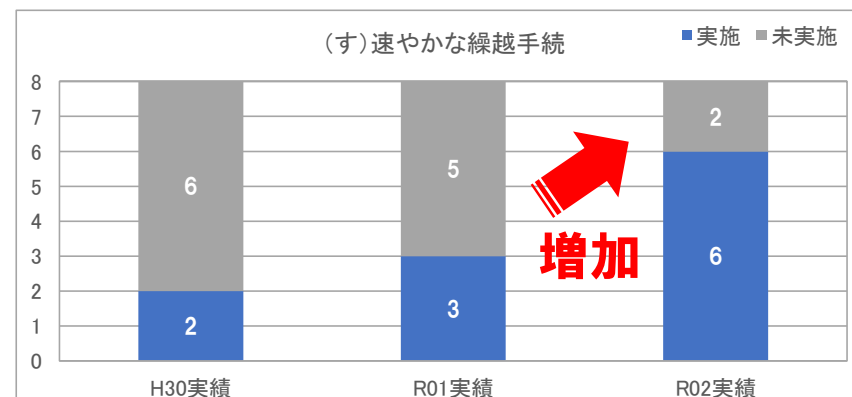
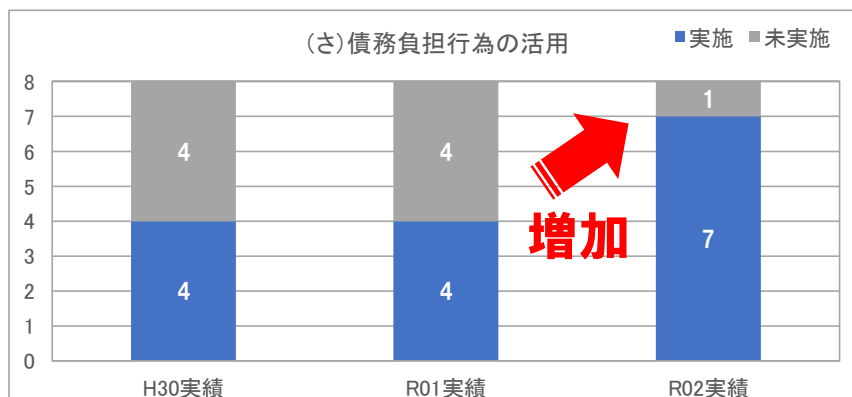
R02
1~2月

長岡市、上越市
富山市、金沢市

R02
実施

三条市、射水市
小松市、白山市
(概ね人口10万人以上)

R03
計画



【出典】(各項目についてキャラバン2巡目訪問8市のデータを集計)

H30実績: 入札契約適正化法に基づく実施状況調査(H30調査[H30.08.01現在の状況])、R01実績: 入札契約適正化法に基づく実施状況調査(R01調査[R01.11.01現在の状況])、R02実績: 北陸ブロック発注者協議会調べ(R03.04調査)
※ R02実績には対象案件がなく実施できなかった場合を含む。

キャラバン2巡目訪問8市における平準化の取り組み状況推移

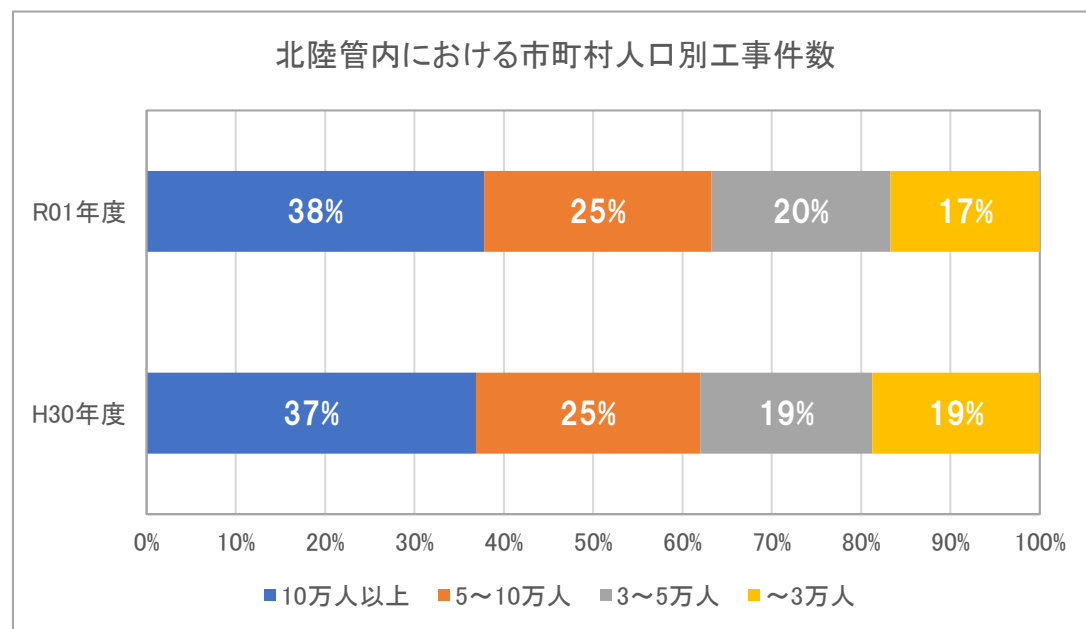
- ◆ R3年度も「施工時期の平準化」の更なる推進を図ることを重点的に実施。
- ◆ 概ね人口5~10万人の市町村を対象として訪問予定。
- ◆ 全国統一指標・地域独自指標の取組みについてのフォローアップを実施。

令和3年度 発注関係事務相談キャラバン計画

□ ～令和2年度 訪問市町村

発注工事件数が比較的多く、平準化の取組の効果が見込まれる**概ね人口10万人以上の市**を訪問(R2.1～2月:長岡市、上越市、富山市、金沢市、R2年度:三条市、射水市、小松市、白山市)。

□ 令和3年度 発注関係事務相談キャラバン計画



北陸管内における人口別市町村数

	新潟県	富山県	石川県	3県合計
10万人以上	3	2	3	8
5～10万人	9	2	4	15
3～5万人	6	6	2	14
～3万人	12	5	10	27
合計	30	15	19	64

※ 人口:総務省HP_【総計】住民基本台帳人口・世帯数、平成30年度人口動態(市区町村別)【H30】
※ 発注工事件数:北陸ブロック発注者協議会調べ(H31.04調査:H30実績、R02.03調査:R01実績)

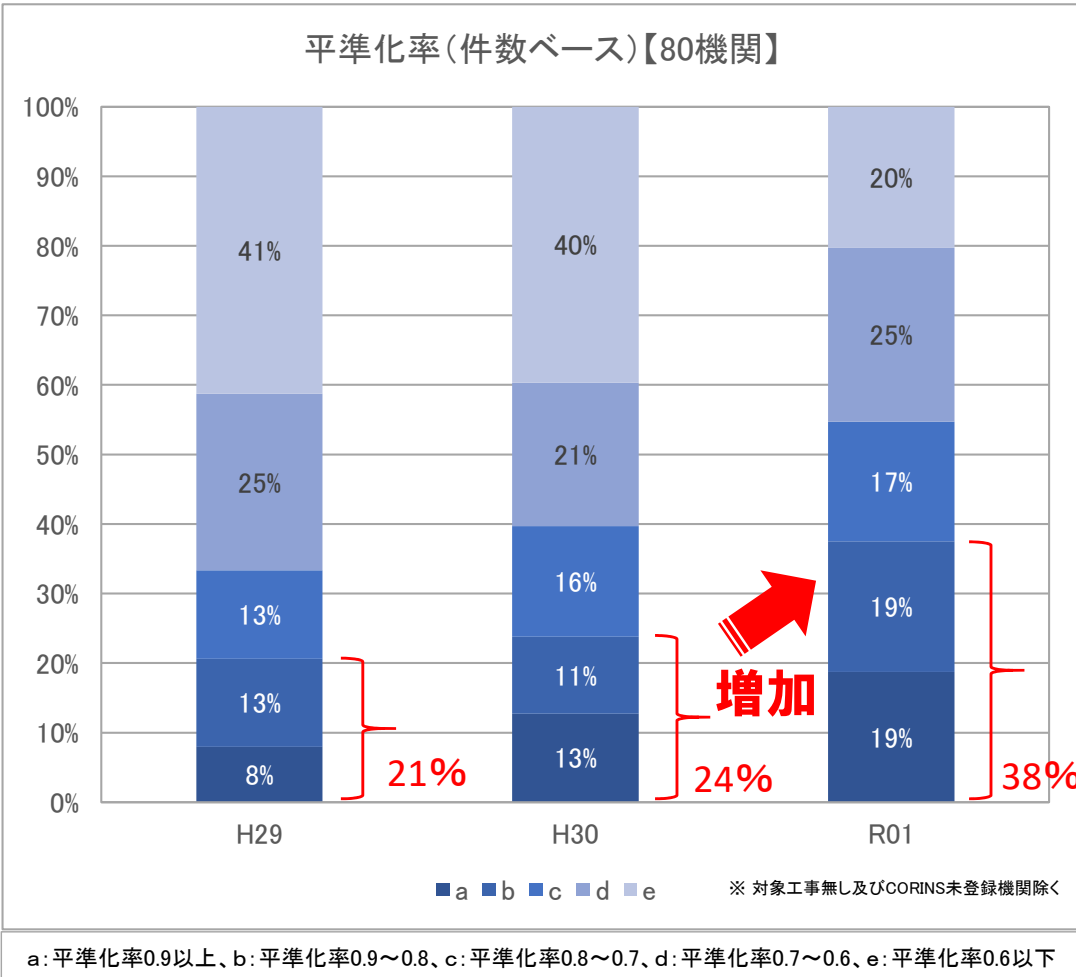
R03 計画

- ◆ **人口10万人以上の市の訪問は、R2年度までに概ね完了。**
- ◆ **発注工事件数は、人口の多い市町村ほど多い傾向にあるため、令和3年度以降は、平準化の取組の効果が見込まれる**概ね人口5～10万人の市町村を対象として訪問予定。****

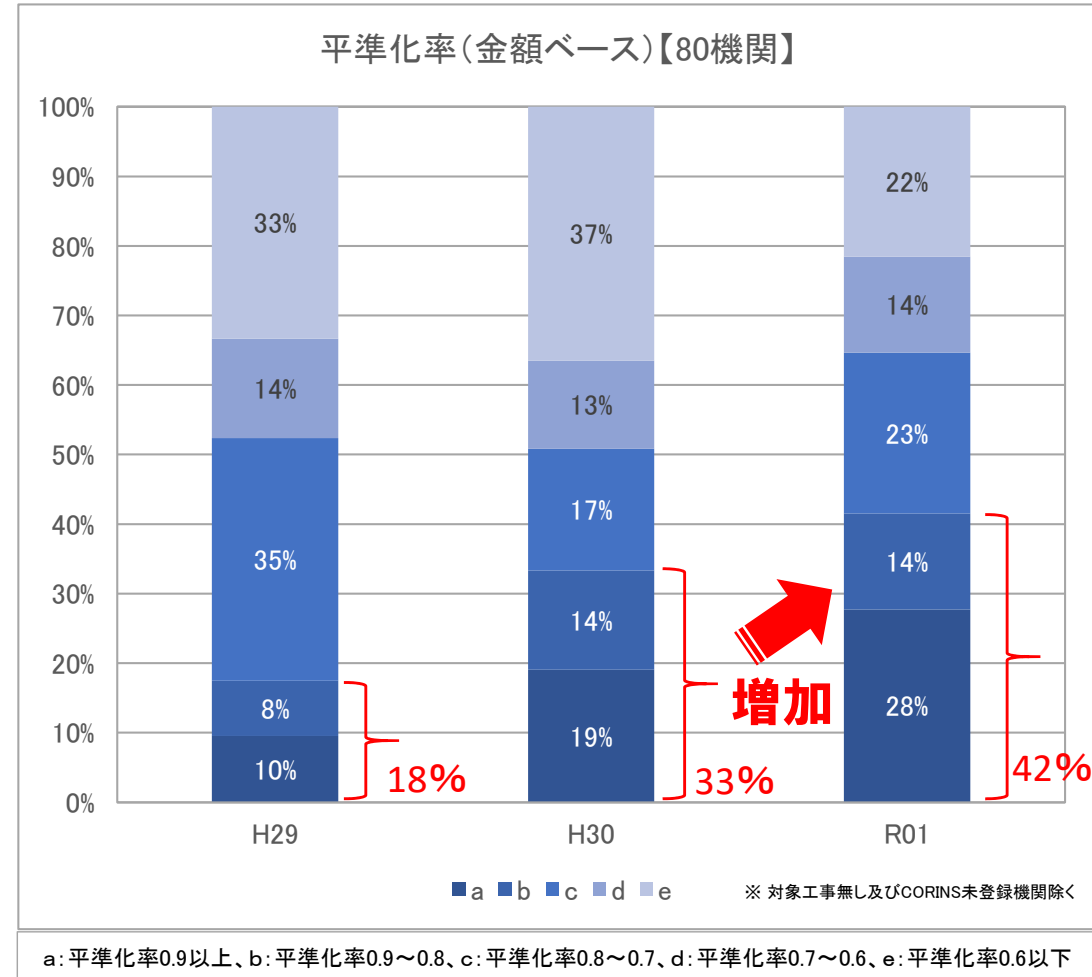
【参考】施工時期等の平準化 平準化率(北陸全体(80機関))

◎ 施工時期等の平準化 【H29年度実績・H30年度実績・R01年度実績】

◆ 平準化率(件数ベース) 【新全国統一指標項目】



◆ 平準化率(金額ベース)

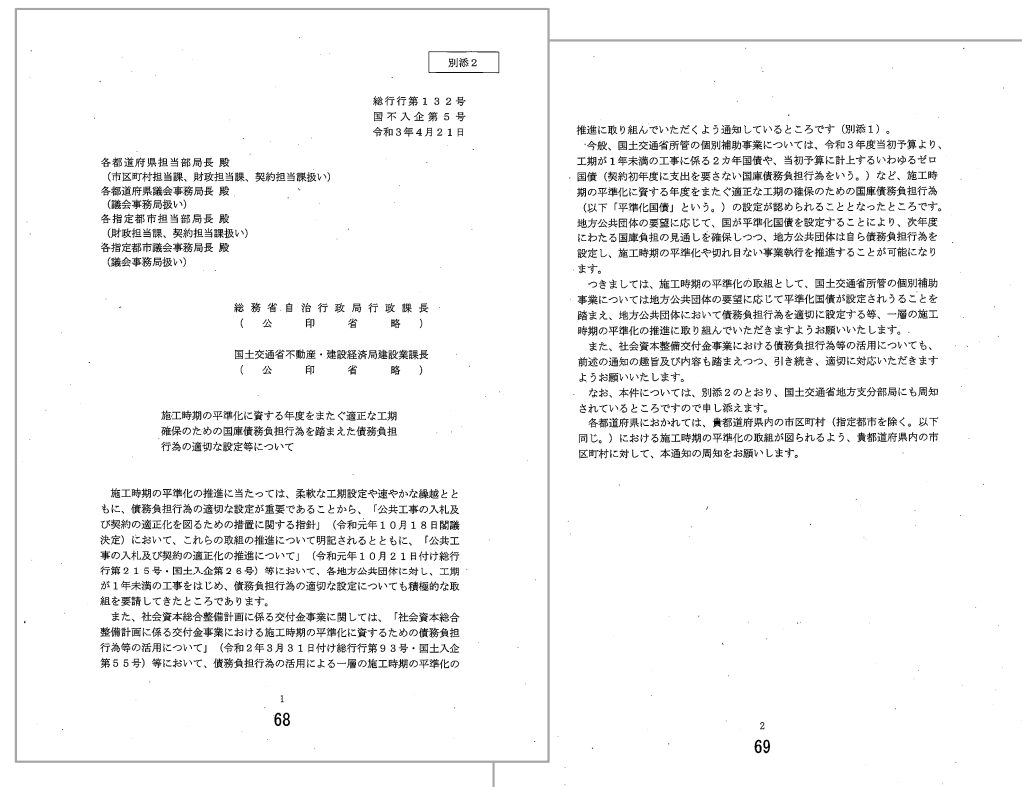


- 平準化率は、**件数ベース、金額ベースとも指標値は改善傾向。**
- R06年目標値(平準化率0.8以上)達成に向け、キャラバン(2巡目(R02~))を通じて「さしすせそ」の取り組み拡大を図る。

【参考】平準化を目的とした債務負担行為(平準化国債)の活用

◆ 施工時期の平準化に資する年度をまたぐ適正な工期確保のための国庫債務負担行為を踏まえた債務負担行為の適切な設定等について(通知)
(R03.04.21_総務省・国土交通省⇒都道府県(⇒市町村))

- 施工時期の平準化の推進には、「柔軟な工期設定」や「速やかな繰越」とともに、「債務負担行為の適切な設定」が重要。
- 工期が1年未満の工事をはじめ、「債務負担行為の適切な設定」について積極的な取り組みが必要



令和3年度当初予算より

- ◆ 個別補助事業にも平準化目的の債務負担行為が活用可能
 - ◆ 個別補助事業でも年度末工期の回避や早期発注に取り組むことが可能
 - ◆ 工事だけでなく、測量、設計などの業務でも活用可能
- ◆ インフラ老朽化対策などで配分が増加傾向にある個別補助事業で平準化国債を活用することにより、自治体のさらなる施工時期の平準化を促進

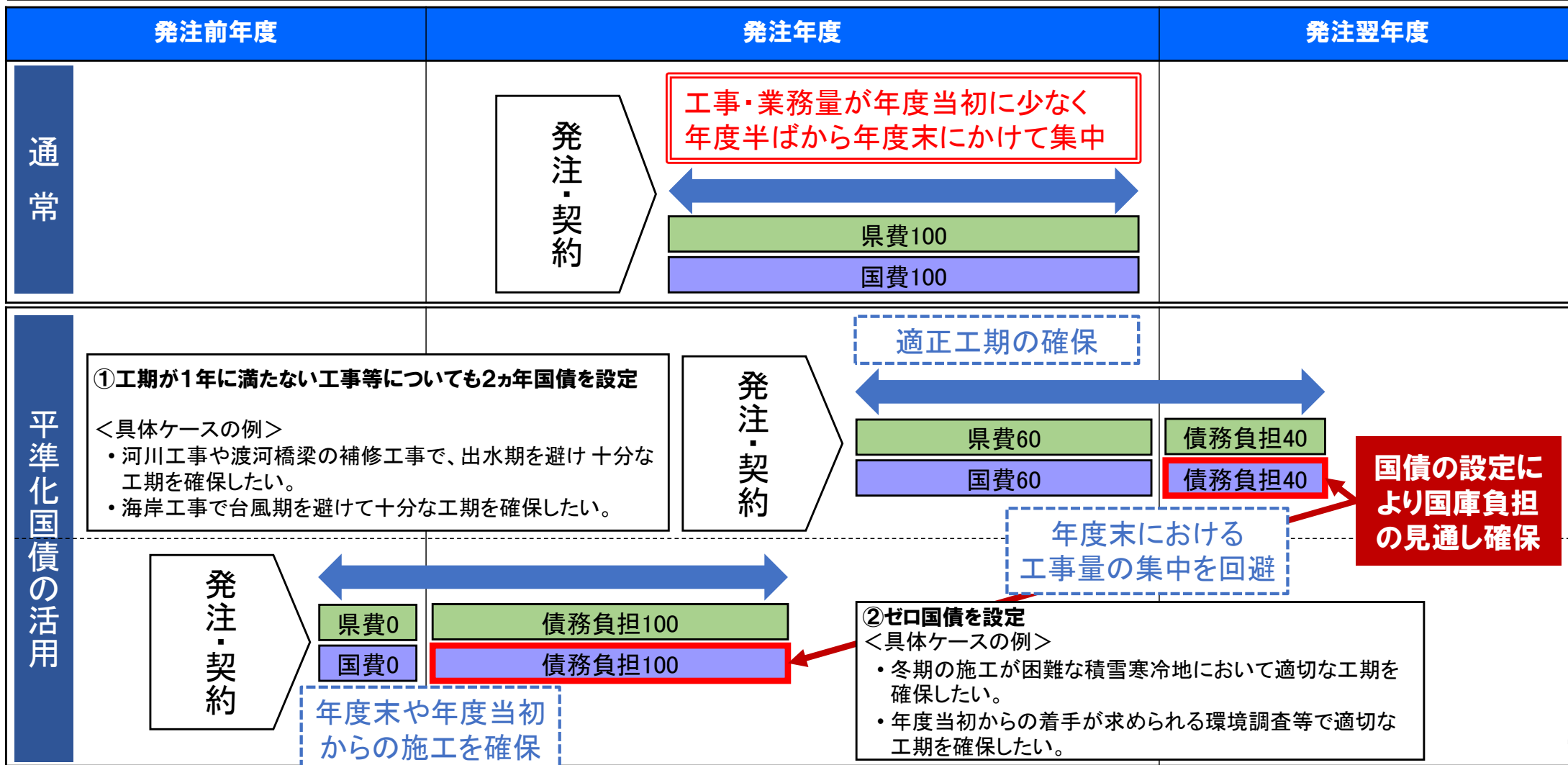
【参考】施工時期の平準化に資する年度をまたぐ適正な工期の確保のための債務負担行為(平準化国債)の活用

□ 国土交通省所管補助事業について、以下のような平準化に資する年度をまたぐ適正な工期の確保のための国庫債務負担行為の設定が可能※

- ① 適正な工期を確保するとともに年度末における工事量の集中を回避する観点から、工期が1年以上の公共工事のみならず工期が1年に満たない工事についても2ヵ年国債を設定すること
- ② 年度末や年度当初からの施工を確保する観点等から、契約初年度に支出を要さない債務負担行為(いわゆる「ゼロ国債」)を設定すること

➡ 地方公共団体においては、**平準化国債により次年度にわたる国庫負担の見通し**を確保しつつ、自ら債務負担行為を設定し、**施工時期の平準化や切れ目ない事業執行を推進することが可能**

※ 測量、設計等の業務 についても可能



建設現場における働き方改革の取組 （週休2日の取組）

北陸建設業界の担い手確保に向け

建設現場の「土日閉所」を推進します (統一的な現場閉所「第4弾」)

※ 第1弾:2019GW期間(4/27(土)~5/6(月)の10連休)を実施 ※ 第3弾:令和2年度(年間を通じて月2回)に実施
※ 第2弾:令和元年秋(9月・10月・11月 4回の「3連休」)に実施

- 管内(新潟県、富山県、石川県)の各発注機関が連携して行う統一的な現場閉所「第4弾」の取り組み。(各発注機関から施工業者へ提案)。
- 各発注機関が協働して行い、施工業者の働き方改革を後押し。
- 北陸ブロック発注者協議会の各発注機関が連携・協働により、工事内容、施工場所に関わらず、統一的な取り組みとして実施。

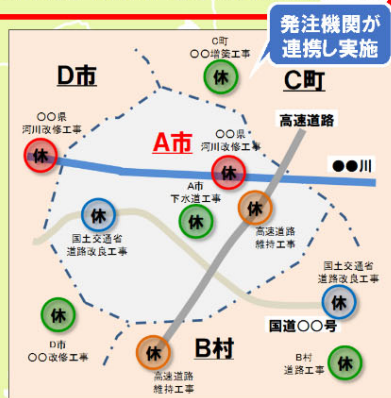
- 令和3年度も、年間を通じての取り組みを実施。
- 毎月の第2週、第4週の土日※を「現場閉所の統一日」に設定し、週休2日を実施。

※ 就業規則等で第2週、第4週以外を休日とする場合、読み替えられるものとする。

第2週、第4週の土日を「統一的な現場閉所」とした場合

例:令和3年6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



建設業は、改正労働基準法の施行から5年後(令和6年度)に罰則付きの時間外労働規制が適用。令和6年度以降の「4週8休の確保」に向けた週休2日推進に向け、北陸ブロック発注者協議会が連携して取り組みを実施。

【北陸ブロック発注者協議会】

北陸地方整備局、北陸農政局、北陸信越運輸局、大阪航空局、第九管区海上保安本部、関東森林管理局、北陸財務局、金沢国税局、長野自然環境事務所、東日本高速道路(株)新潟支社、中日本高速道路(株)金沢支社、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構大阪支社

新潟県、県内30市町村、富山県、県内15市町村、石川県、県内19市町

全79機関で統一実施

令和3年度 週休2日モデルカレンダー

- 令和3年度は、年間を通じての取り組みを実施。
 - 毎月の第2週、第4週の土日※を「現場閉所の統一日」に設定し、週休2日を実施。
- ※ 就業規則等で第2週、第4週以外を休日とする場合、読み替えられるものとする。

2021年							2022年																				
4月							5月							6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3						1	30	31	1	2	3	4	5					1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	25	26	27	28	29	30	31				
							29	30	31	29	30	24	25	26	27	28	29	30	25	26	27	28	29	30	31		
8月							9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	31	1	2	3	4	5	6				
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13		
15	16	17	18	19	20	21	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
22	23	24	25	26	27	28	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
29	30	31	25	26	27	28	29	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	28	29	30							
12月							1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
							1	2	3	4	5	6	7	30	31	1	2	3	4	5							
5	6	7	8	9	10	11	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31	29	30	31	27	28	27	28	27	28	29	30	31										

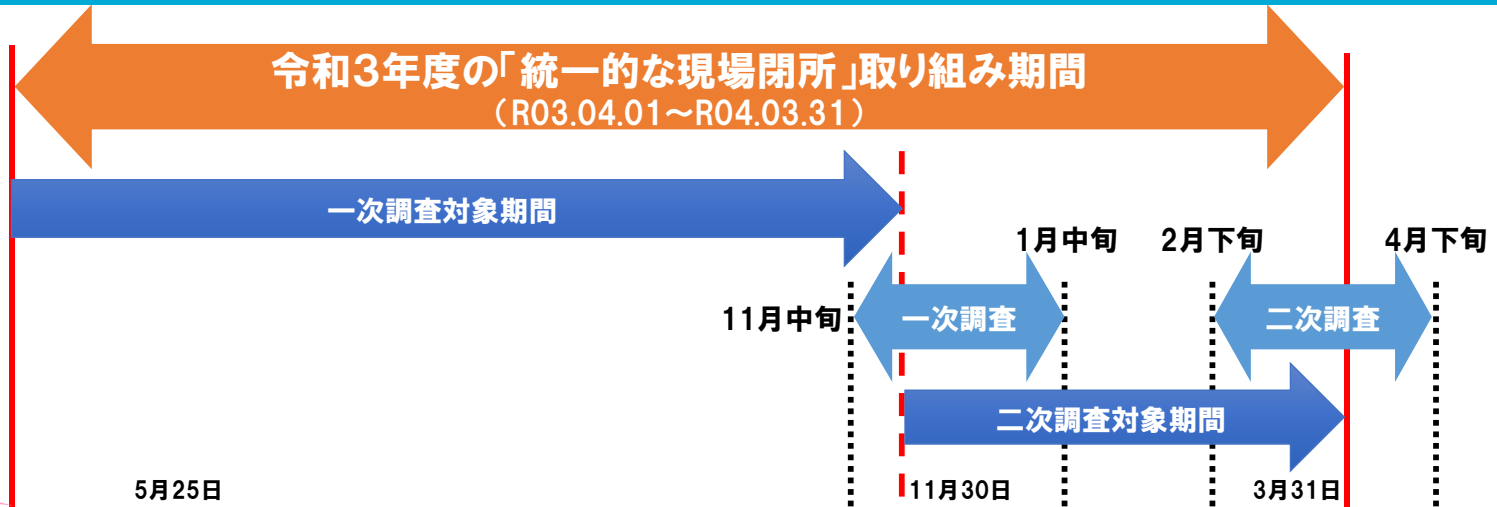
- 統一的な現場閉所は下図の「一般的な工事」を対象。
- 現場条件、工事内容等から現場閉所の実施が困難な工事についても技術者の交替や平日閉所など「交替制モデル工事」の採用を検討。

対象	工事	月	火	水	木	金	土	日
		閉所	閉所					
一般的な工事	技術者						休	休
	工事							
	技術者A						休	休
トンネル工事等(交替制)	技術者B							
	技術者C	休	休					
	工事							
維持工事等(交替制)	技術者A						休	休
	技術者B	休						休
	工事							
現場制約のある工事等	技術者						休	休
	工事						閉所	閉所

令和3年度 統一的な現場閉所のアンケート調査(第4弾)の対象と事例

□ アンケートの調査時期、とりまとめ方法等は、令和2年度(第3弾)と同様。

令和3年度当初より各機関へチラシ配布



対象工事	事例	~3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
	4週6休以上の工事				年間を通じて取り組みを実施し、毎月第2週、第4週の土日※を「現場閉所の統一日」に設定。 ※ 就業規則等で第2週第4週以外を休日とする場合、読み替え可能。											
○	ゼロ国、国債工事 例1															
○	ゼロ国、国債工事 例2															
○	R02補正工事 例1															
○	R02補正工事 例2			R3協議会									R3幹事会			R4協議会
○	単年度工事 例1															
○	単年度工事 例2															
○	単年度工事 例3															
○	単年度工事 例4															
×	単年度繰越工事 例1															
×	R3補正工事 例1															

発注見通し統合の活用促進 （中長期・業務委託）

◆ 工事の発注見通しの統合

H28

H28.12 「発注見通しの統合」試行開始

H28.12 16市町村

H29

H29～ 「発注見通しの統合」試行を拡大

H29.10 18市町村

H30

H30.10 50市町村

H31.04

H31.04 管内全64市町村が参画

H31.04 64市町村

R02～

本格運用後、利用促進に向けた対策を実施

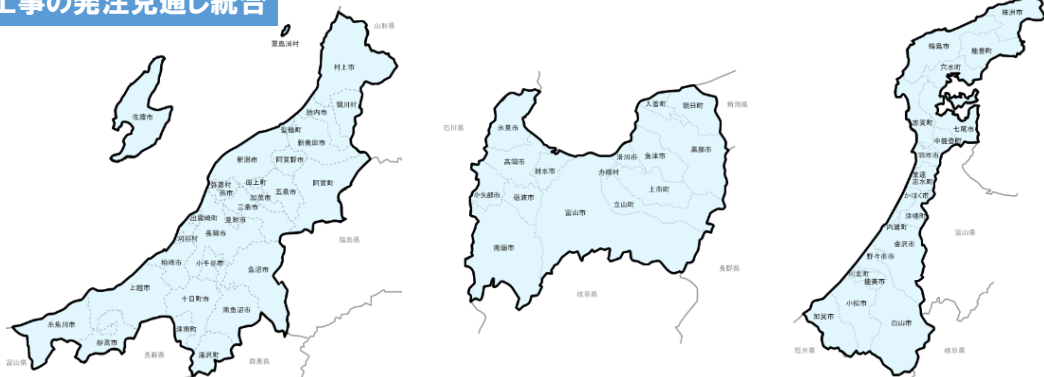
- ・ 整備局HPのトップページに統合版バナーを追加
- ・ 「公表基準日」を更新月の15日、30日に設定して公表
- ・ 各機関の発注見直し公表サイトへバナー等のリンク付け

R03.04現在
83機関

◆ 統合版公表内容

①64市町村別に公表、②1回/四半期更新、③公表内容は7項目

工事の発注見直し統合



〇〇〇〇市町村別に発注見直し公表

市町村	発表期	発表日	公表種別	公表内容	公表場所	公表期間	公表回数	公表回数	公表回数
金沢市	H28.12	16日	工事	工事	金沢市	2016.12	1	1	1
金沢市	H28.12	30日	工事	工事	金沢市	2016.12	1	1	1
金沢市	H29.03	15日	工事	工事	金沢市	2019.03	1	1	1
金沢市	H29.03	30日	工事	工事	金沢市	2019.03	1	1	1

公表内容

- ①名称 ②場所 ③期間
④種別 ⑤概要
⑥入札及び契約の方法
⑦入札予定時期

□ 改正品確法 第七条 第一項

他の発注者との連携による中長期的な公共工事等の発注見通しの作成及び公表、その他必要な措置を講ずること

□ 発注関係事務の運用に関する指針(運用指針) 2-1 業務発注準備段階

当該年度の業務の詳細な発注見通しについて、原則として四半期毎に地域ブロック単位等で統合して公表するよう努める。

中長期的な発注見通しの公表

業務委託の発注見通し統合



◆ 令和2年度(現状把握等)

□ 中長期的な公共工事等の発注見通し

- 直轄では、入札情報サービス(PPI)で令和2年10月1日より、中長期発注見通しの掲載を開始

□ 業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通し

- 国の機関の多くは、入札情報サービス(PPI)や各機関のHPで公表。
- 県・市町村では、国に比べて業務委託の発注見通し公表の実施機関は少ない。

背景

- ◆ 公共工事等の計画的な発注は、繁忙期と閑散期の工事量や業務量の差を少なくし、工事においては労働者の処遇改善や資材・機材等の効率的な活用促進に寄与。
- ◆ 令和元年6月「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、令和2年1月「発注関係事務の運用に関する指針」にて地域における公共工事等の実施の時期の平準化を図るため、計画的な発注を適切に実施するための取り組みとして、中長期的な公共工事等の発注見通しの作成と公表を行うことが、発注者の責務として明記。

令和2年10月1日 直轄工事の中長期的な公共工事等の発注見通しの公表

北陸地方整備局:176件

- ◆ 直轄工事の公表情報
公共工事等の受注者向けの情報として、国土交通省の直轄事業のうち、河川・道路・公園事業の事務所毎の中長期的な発注見通しについて、地方公共団体向けにお知らせしていた事業計画の情報を公表

※ 情報掲載ページ 入札情報サービス <https://www.i-ppi.jp/>

事業計画通知に記載している事業(プロジェクト)の情報を中長期的な見通しとして追加



中長期発注見通し機能を追加

No.	発注機関/担当部・事務所	事業名	更新日
1	国土交通省〇〇地方整備局/〇〇国道事務所	国道〇〇号〇〇道 (〇〇〇〇) (〇〇環状道路)	2020/04/01
2	国土交通省〇〇地方整備局/〇〇国道事務所	国道〇〇号〇〇道	2020/04/01

対象事業：
国土交通省の直轄事業のうち、河川・道路・公園事業

発注機関	国土交通省〇〇地方整備局
担当部・事務所	〇〇国道事務所
事業名称	国道〇〇号 〇〇道路
全体事業規模	L=23.0km
全体事業費	〇〇〇億円
当年度の事業費	〇〇億円
事業進捗/完成予定時期	事業進捗率: 〇〇% 用地進捗率: 〇〇%
当年度事業概要	道路改良工 ○km 橋梁上下部工 ○橋 トンネル工 ○箇所 ※関連する測量、調査、設計業務も含む
備考	

令和3年度 中長期的な発注見通し統合(案)

- **令和3年度 第3四半期を目途に発注見通し統合版を公表。**
- **令和3年度は、県、政令市は最低でも1件以上公表。**
- **既に複数年事業化されている案件等から公表。**

中長期的な発注見通し統合版公表イメージ(案)

協議会HP

北陸ブロック発注者協議会

北陸地域における工事及び業務委託(測量、調査及び設計)の「発注見通しの統合」

- 各発注機関が令和〇年度第〇四半期までに公表した「工事」及び「業務委託(測量、調査及び設計)」の発注見通しを地域単位に統合して掲載しています。
- これらの情報は、令和〇年〇月〇日現在、集約・統合したものであり、既に発注済みの工事、業務委託が記載されている場合や実際に発注する工事、業務委託がこの記載と異なる場合、またはここに記載されていない工事、業務委託が発注される場合があります。
- ここに掲載されている情報は、ある地域内で発注される工事、業務委託件数の概数を把握するためのものであり、詳細かつ最新のデータは個々の発注機関が公表している情報で確認して下さい。

[北陸地域における工事の「発注見通しの統合」](#) 【令和〇年〇月〇日更新】

[北陸地域における業務の「発注見通しの統合」](#) 【令和〇年〇月〇日更新】

[北陸地域における中長期的な「発注見通しの統合」](#) 【令和〇年〇月〇日更新】

追加 →

中長期的な発注見通し統合

1回/年 更新

公表内容(例:直轄工事)

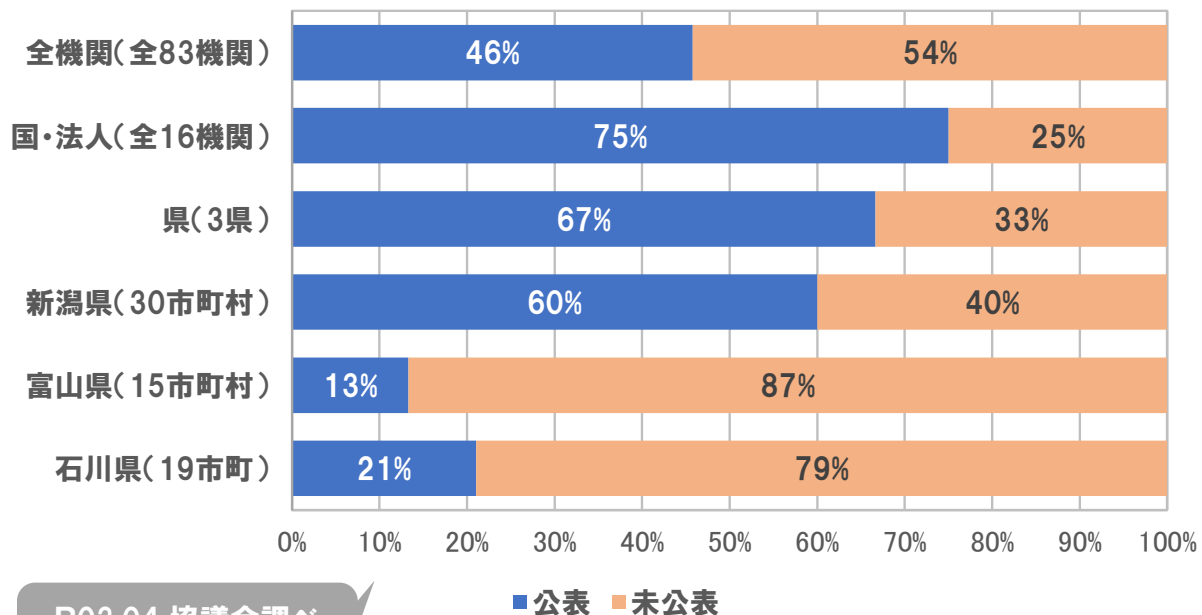
- ① 事業名称
- ② 全体事業規模
- ③ 全体事業費
- ④ 当年度の事業費
- ⑤ 事業進捗/完成予定時期
- ⑥ 当年度事業内容

事業名称	事業規模	事業費	進捗	完成予定	備考
〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇%	〇〇年〇月	
〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇%	〇〇年〇月	
〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇%	〇〇年〇月	
〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇%	〇〇年〇月	
〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇%	〇〇年〇月	
〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇%	〇〇年〇月	
〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇%	〇〇年〇月	

地区分けを行わず、全機関の情報を「北陸地域」で統合

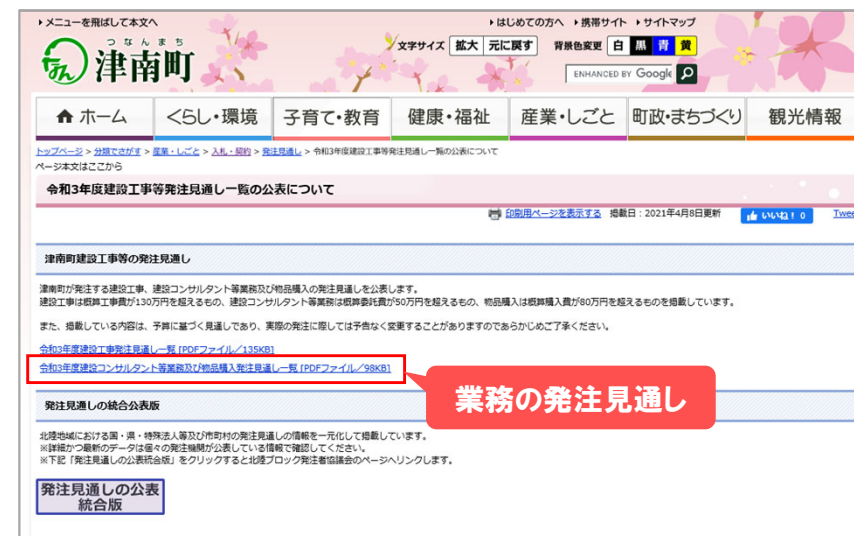
各機関の業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通しHP公表状況(R03.04現在)

各機関HPでの業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通し公表状況



R03.04 協議会調べ
(各機関HPにて確認)

□ 約半数(46%)の機関でHPにて業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通しを公表。
(工事は約94%の機関がHPにて公表)



業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通しのHP公表例

令和3年度 業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通し統合(案)

- **令和3年度 第3四半期に発注見通し統合版を公表**(公表方法等は工事と同様)。
- **データ提供可能な機関より順次公表**(参画時期は統合版公表のタイミング)。
- 公表方法、公表形態等(案)
 - ◆ 統合公表区域: 3県別に公表(案)
 - ◆ 公表スケジュール: 4半期ごと(工事と同様)

中長期的な発注見通し統合版公表イメージ(案)

協議会HP

北陸ブロック発注者協議会

北陸地域における工事及び業務委託(測量、調査及び設計)の「発注見通しの統合」

- 各発注機関が令和〇年度第〇四半期までに公表した「工事」及び「業務委託(測量、調査及び設計)」の発注見通しを地域単位に統合して掲載しています。
- これらの情報は、令和〇年〇月〇日現在、集約・統合したものであり、既に発注済みの工事、業務委託が記載されている場合や実際に発注する工事、業務委託がこの記載と異なる場合、またはここに記載されていない工事、業務委託が発注される場合があります。
- ここに掲載されている情報は、ある地域内で発注される工事、業務委託件数の概数を把握するためのものであり、詳細かつ最新のデータは個々の発注機関が公表している情報で確認して下さい。

[北陸地域における工事の「発注見通しの統合」](#) 【令和〇年〇月〇日更新】

[北陸地域における業務の「発注見通しの統合」](#) 【令和〇年〇月〇日更新】



[北陸地域における中長期的な「発注見通しの統合」](#) 【令和〇年〇月〇日更新】

3県別に公表(案)

業務委託(測量、調査及び設計)の発注見通し統合



1回/四半期更新

公表内容(工事と同様)

- ①名称
- ②場所
- ③期間
- ④種別
- ⑤概要
- ⑥入札及び契約の方法
- ⑦入札予定時期

発注機関	発注年度	発注時期	発注種別	発注内容	発注場所	発注期間	発注概算	発注予定時期
石川県建設部	令和3年度	第3四半期	測量	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
福井県建設部	令和3年度	第3四半期	調査	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
富山県建設部	令和3年度	第3四半期	設計	〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇